

Lesson 1: 名詞(節)を説明するカタマリを見抜く

例題解答

- 1 a) レストランで使われている皿が食べ物[料理]の味に影響を及ぼす
b) ビタミンEを含む食品を食べること
- 2 私たちが抑えるべき[抑制しなければならない]感情である

全 訳

¹⁾都会版採掘者が直面している問題は、十分な[必要な](台)数の電話を手に入れることである。携帯電話の安定した売り上げと環境への高まる懸念がある(→携帯電話の需要は安定しており、環境への懸念も高まっている)にもかかわらず、古い携帯電話のおよそ10%から20%しかリサイクルされていない。多くの人が自分の古い携帯電話を手放さないのは、²⁾そこに残っている個人データ[情報]のことを心配しているからである。しかしながら、今ではそのようなデータは安全に消去することができるので、より多くの人がリサイクルを始める(→リサイクルを始める人が多くなる)だろう。もし都会版採掘がもっと一般的になれば、貴重な金属がより安く入手しやすくなるだけでなく、環境により優しくもなるだろう。

全 訳

¹⁾科学は「セレンディピティ」、つまり幸運な偶然によってなされた[幸運な偶然による]発見の話に富んでいる。レイセオン社で働いているとき、²⁾パーシー・スペンサーは自分が取り組んでいるレーダーから出る[放出される]マイクロ波がポケットの中にあった[入っていた]チョコバーを溶かしていたと気がついた。マイクロ波が熱を起こすことに気がついたのは彼が初めて(の人)ではなかったが、食品を加熱調理するためにこの熱を利用する[この熱を利用して食品を加熱調理する]ことを思いついたのは、彼が初めて(の人)だった。その後、レイセオン社はスペンサーの考えを商工業用として使うために発展させた。

Lesson : 2 基本構造を見ぬく

例題解答

- 1 子どもや大人が自らの感情的〔一心の〕問題を乗り越えるのに役立つ
- 2 a) コーヒーを飲む(という)習慣
b) 人が本当は何を伝えようとしているのか[人が本当に伝えようとしていること]について

実践 1 (本冊 p.7)

解 答

- (1) bones, feathers, and other objects (2) **全訳** 下線部 2)を参照. (3) b)

全 訳

髪(の毛)が、優位のしるしとなる[優位であることを示す]ことがよくある。原始人は、敵に(自らを)強く印象づけたり威嚇したりするために、髪に骨、羽根やほかの物[骨、羽根などの物]をつけた。2)のちに、ローマ人は自らが征服した人々に、服従を示すために髪を切らせた。17世紀の中国では、満州人は前頭部分の髪をそり、くしで後頭部分の髪をといて、編みこんで長く垂らした。彼らはまた、自らが征服した人々にもこの髪型をさせた。

実践 2 (本冊 p.7)

解 答

- (1) 1) **全訳** 下線部 1)を参照. 2) **全訳** 下線部 2)を参照.
(2) 明るい海岸では、ウミガメは産卵するのを避けることがある。

全 訳

動物に対する光害の影響〔→光害が動物に影響を与えること〕はよく知られている。
1) ウミガメは、いかに人工の光が動物の行動を乱しうるか(について)の印象的な例を示す。 ウミガメの多くの種は、海岸で卵を産む。夜にこうした海岸が明るく照らされていると、ウミガメはそこで産卵するのを避けることがある。おまけに、2) ウミガメの赤ちゃんは普通、陸地の暗い輪郭から離れることによって、海のほうへ進む[海にたどり着く]。 したがって、陸地が(明るく)照らされると、ウミガメの赤ちゃんは光のほうに向かって進み、決して海を見つけられないのである。

Lesson : 3 挿入を見ぬく

本冊 p.8 例題の解答

- 1 長い目でみると、経験したことは(財産などの)所有物よりも人を(より)幸せにする
- 2 成功の秘訣は、私が思うに、失敗を恐れないことだ。

実践 1 (本冊 p.9)

解 答

- (1) 全訳 下線部 1)を参照。
- (2) 人間の出す音をまねようとする行動。(17字)／人間の会話の音を模倣する行為。(15字) など

全 訳

多くの科学者は、彼らが録音し分析した音は、実は人間の出す音をまねようとしたシロイルカのもの[音]であると思うようになってきた。¹⁾そのシロイルカは長い間人間の近くで暮らして[生きて]いたので、聞こえていた人間の会話の音をまねることができた、と彼ら(=科学者)は思っている。そのシロイルカは口と鼻の中の圧力を変えることでそうした(=人間の出す音をまねた)のかもしれない、と科学者は信じている。そのシロイルカは、約4年後にこの行動をやめてしまったようだ。

解 答

- (1) より幅広い[さまざまな]人と会話をするができること。
- (2) 全訳 下線部 2)を参照。
- (3) 2か国語を話すと、言語とは関係のない知的領域にかかわる技能を高め、高齢期の〔一年を取ってからの〕認知症を予防さえしうる。

全 訳

ただ1つの言語(を話すの)ではなく2つの言語を話すことは、ますますグローバル化が進む世界では明白な実用面での利点がある。しかし近年、2か国語を話すことの利点は、より幅広い[さまざまな]人と会話をするができるということよりもさらにもっと根本的である、ということを科学者は示し始めている。²⁾2か国語を話すことで、より賢くなるということが(今では)わかっている。2か国語を話すと、脳に多大な影響を及ぼしうる。つまり、言語とは関係のない知的領域にかかわる技能を高め、高齢期の認知症を予防さえしうるのである。